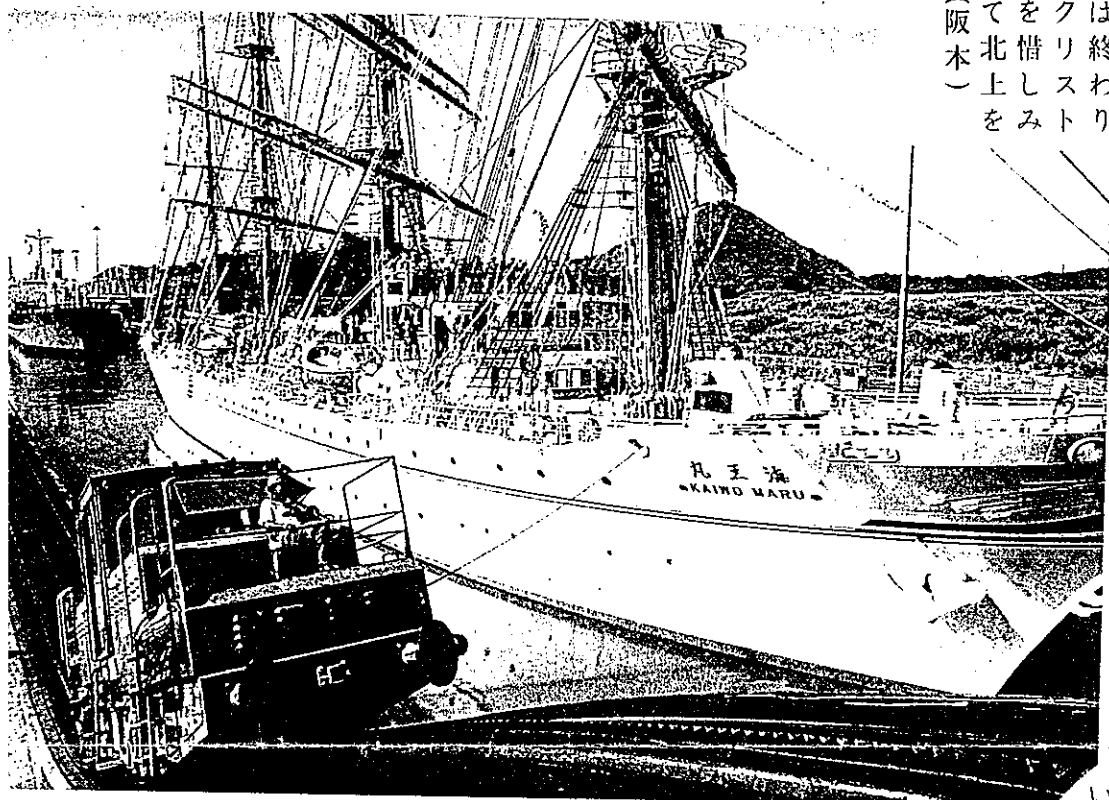


一時間です。太平洋側のミラフロレス湖に通過した後、午後一時半頃ガツク湖に入りました。午後調整のため、約一時間ほど仮泊しました。そして最後の水門であるガツク湖に入門する。眼下にカリブ海が広がっています。実習生はもろろん私も大西洋を見るのは初めてです。このとき誰も胸を躍らせたに違いありません。午後五時過ぎガツク湖の玄関口であるクリストバル港内に入り、港内にはコロニア海軍の帆船がア号が錨泊してあり、敬礼を交わしました。ニューヨークのバレードの息吹を感じさせました。午後六時過ぎクリストバル防波堤を通過し、約二時間に及ぶ運河通航は終わりました。夕闇に包まれたクリストバルはとも美しく名残を惜しむつたニューヨークに向けて北上を開始しました。

(阪木)



パナマ運河通航

あどがき 近年希にみる猛暑の中、八月六日(土)の総帆展帆には多数のボランティアの方に参加をいただきありがとうございました。

今年の夏は、昨年の冷夏とうってかわって猛暑が続いています。海王丸の業務課員も日中は船体整備やマスト点検などで、焼けたデッキの上で一時間も作業をする。頭が朦朧となってくる始末です。このような暑い中で外の仕事をやる者にとっては、本当に冷房や冷蔵庫のありがたみを実感する暑い夏です。

八月二八日(日)は、今年最後の総帆展帆です。残暑も厳しい時期ですが、よろしくご協力をお願いいたします。(望遠鏡)



# KAIWO MARU

